

# 県民の あゆみ

特集(p.4)

これからの「ものづくり産業」の発展を担う先端技術

奏であう人(p.8)

世界から見た山形

やまがた伝説(p.16)

庄内海岸林



## やまがた 伝説 DENSETSU

### 飛砂の被害から地域を守る 「庄内海岸林」は先人たちの 努力の結晶です!

※海岸の砂が風によって飛ばされること。家屋、農地等の埋没や、砂が河川に堆積すると頻繁に洪水が発生し被害をもたらした。



「庄内海岸林」は、遊佐町吹浦から鶴岡市湯野浜までの長さ33kmにもおよぶ海岸沿いに広がる、広大なクロマツ林です。総面積はなんと2,500万㎡! 日本三大松原と言われる「三保の松原」「気比の松原」「虹の松原」を合わせた面積と比べても8倍以上の広さを誇ります。日本を代表する海岸林として、松原のある砂浜の景勝地「日本の白砂青松100選」にも選ばれています。



人の手で造られた  
庄内海岸林は、  
300年以上の歴史が  
あるんだって!



庄内海岸林は、  
日本三大松原をはるかに  
しのぶスケールです!

飛砂の猛威から暮らしを守るため、18世紀頃から庄内砂丘へのクロマツの植林が始まりました。庄内特有の激しい季節風に立ち向かいながら、地域の豪商をはじめ、多くの先駆者とそれぞれの集落の住民たちの努力により、緑豊かな林へと生まれ変わりました。庄内海岸林はその後も、約300年もの間、途絶えることなく植林・保全の営みが繰り返され、存続の危機を何度も乗り越えてきました。



貴重なクロマツ林を守るため、  
子供たちも活動しています!

庄内海岸林は、地域の暮らしや産業に欠かせない存在です。ところが、近年は松くい虫の大きな被害により全域で荒廃が進んでいます。そこで、NPOやボランティア、地元企業や市民が自ら保全に取り組んでいます。また、地域の保育園児から大学生までが枝打ち活動などに参加し、海岸林に親しみ、学び、守る取り組みを続けながら、その大切さや故郷への愛着を育てています。



先人たちの努力を  
引き継ぎ、  
かがえのない  
海岸林を  
未来へ残したい

庄内海岸林について話をお聞きした  
梅津 勤一さん  
じゅもくい まつほ こし きたしょうないしんりんくみあい  
樹木医・松保護士・北庄内森林組合

庄内海岸林は、規模・歴史・景観のすべてにおいて、山形が誇る日本の貴重な自然遺産です。海水浴やキャンプなどで庄内の海岸を訪れた際は、ぜひクロマツ林に目を向け、海岸林の素晴らしさや守り育む取り組みを知ってほしいと思います。



工業技術センターで、ロボットを活用するための先端技術を学ぶ県内企業の技術者の皆さん。ものづくりの現場では働き手不足や労働生産性向上に対応するため、IoT・AIやロボットなどの先端技術が注目されています。(撮影協力:やまがたロボット研究会)